

地域人材・資源活用推進校 AOGASHIMA 通信

令和5年10月14日
青ヶ島村立青ヶ島小中学校
NO.5



『カラスバトの学習』

青ヶ島村にも生息しているカラスバトは、天然記念物に指定されています。青ヶ島村で、日常的に見られるカラスバトは、カラスのように体が黒く、美しい輝きをしています。一般的には、島嶼のシイ、カシ、タブノキ、ヤブツバキなどの常緑広葉樹林、スギ林に生息しているそうです。

今回、地域学校協働推進委員の方から、国立環境研究所の研究者としてカラスバトの生態について研究されている方を紹介していただきました。カラスバトの調査のため、青ヶ島村に来島される機会に、小中学校にもご来校いただき、出前授業を行っていただきました。

対象：小・中学校

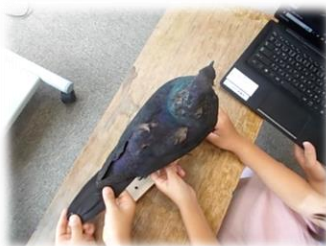
学年：小学校第2学年 教科：生活科

学年：小学校第3・5・6学年、中学校第1・2学年 教科：総合的な学習の時間

日時：令和5年7月14日（金）小学校：4校時、中学校：5校時



小学生の学習の様子



中学生の学習の様子



7月14日（金）4校時・5校時、生活科・総合的な学習の時間において、国立環境研究所の研究者、地域学校協働推進委員の方を講師としてお招きして、青ヶ島の天然記念物に指定されている「カラスバト」の学習をしました。子供たちは、カラスバトの標本を実際に見て、触れることで、触った感覚、色など、発見したこと、気が付いたことを発表することができました。

対象：小・中学校

学年：小学校第2学年 教科：生活科

学年：小学校第3・5・6学年、中学校第1・2学年 教科：総合的な学習の時間

日時：令和5年7月18日（火）4校時



14日（金）のカラスバトの学習を踏まえ、18日（火）国立環境研究所の研究者、地域学校協働推進委員の方と一緒に、小中学生が、フィールドワークを行いました。小中学生は、講師の方と一緒に散策し、カラスバトが飛び立つ様子を発見することができました。